

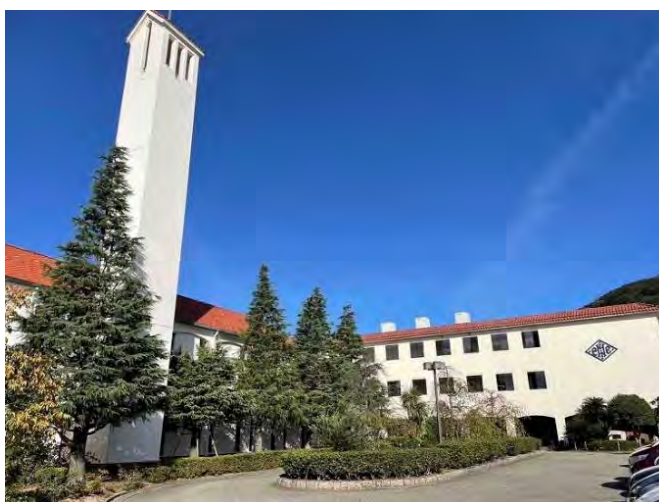
## 関西学院大学 継 続

# 啓明学院中学校・高等学校

兵庫県 神戸市

<私立 共学 転編入 海外入試 寮>

[学校ホームページはこちら](#)



〒654-0131 神戸市須磨区横尾9丁目5番1

市営地下鉄「妙法寺」徒歩12分または73・75系統バス  
JR・山陽「須磨」75系統バスで「啓明学院前」

帰国生在籍数 約100名

### 沿 革

1886年にランバス博士が開いた「パルモア学院」を母体として、1923年、パルモア女子英学院が設立され、1940年、啓明女学院と校名を変え、その後2002年に中高一貫の共学校として誕生した。「キリスト教主義による全人教育」を教育理念にしており、人間としての土台を作り、日本語をしっかり習得し、将来必要となる

基礎学力や知的意欲をはぐくむ教育を行っている。継続校の利点をいかし、関西学院大学への推薦進学を前提としたカリキュラムで、一貫教育を受けることができる。2023年には100周年を迎えた。



### 教育の特色

「学術研究」「ソーシャルビジネスプラン」「フィールドワーク」を三つの柱として、世界の課題にチャレンジする「社会起業家精神（ソーシャルアントレプレナーシップ）」にあふれたグローバルリーダーを育てる。高度な科学技術を、人間、社会、地球を視野に入れて使いこなすために、高3までは文系理系に分けない文理横断型のカリキュラムを採用した、リベラルアーツを学ぶ。

#### ① 読書教育（中学）・学術研究（高校）

- ・中学では、「読む力」をつけながら「考える力」「書く力」「話す力」を習得する。中1～2で論文の書き方を学び、中3で10,000字の論文を手書きし、装丁も自ら考えて一冊の本に仕上げる。
- ・高校では学術研究（総合的な探求の時間）がある。高1では欧米の読書技術と文章技術を学び、高1の終わりには提示される約20冊の本の中から1冊を選び、4教室分の広さを持つラーニングコモンズ（メアリーホール）や図書館で、ゼミスタイルをとった15名程度の小グループに分かれ深く読みこむ。ネイティブ教員の指導による英語のグループもあり、帰国生・留学生が多く受講している。高3ではそれをもとに個々の研究テーマを見つけ、12,000～13,000字の「学術研究レポート」を作成し、プレゼンテーションを行う。このレポートは卒業のために必須である。

## ② 英語教育・国際交流

多くの帰国生（全校生徒の約10%）や留学生とともに学ぶという環境の中で、大学や社会で役に立つ英語運用能力を身につける。高校卒業までに英検2級以上の取得を目指す。全員参加の英語キャンプ（中1）のほか、中学では生徒一人ひとりの英語運用能力に対応したオンライン多読学習や、校内スピーチコンテストを実施している。高校では英語を用いたプレゼンテーションコンテストやディベートコンテストを開催。インプットだけでなくアウトプットの機会が数多く用意されている。また、PCやスクリーンプロジェクターが完備され、五角形のテーブルでのグループワークができるアクティブラーニングスペース（DIG）では、オンラインによる海外交流プログラムを行う。現地体験型のイギリス英語国際交流研修や、現地の社会問題を解決するソーシャルビジネスを学ぶミャンマースタディーツアー、アメリカ英語研修ツアー、インドとの交流などは、2023年3月から順次再開している。

## ③ 前島・青島キャンプ、海洋冒険キャンプ

啓明のプログラムの特徴として、キャンプ教育がある。大自然の中で野外学習と合宿生活を体験し、教職員と生徒が協働で学び、チャレンジ精神をはじめとして、友情、自立心、思いやりなど豊かな人間性を育み、また、共同体の一員としての自分の役割を果たすことで、よきメンバーシップを育む。前島キャンプ（岡山県瀬戸内市、学校所有）では、中高のオリエンテーションキャンプが行われ、中2では無人島である青島（関西学院所有）で5泊6日のサバイバルキャンプを行う。上級生は下級生たちの班つきリーダーやクラスつきリーダーとして参加し、リーダーシップを学ぶ機会にもなる。希望者は関西学院中学部と合同の海洋冒険キャンプにも参加できる。

## ④ 高大連携

関西学院大学の先生方による学部説明会・留学説明会が開かれ、高3の選択科目「法律学」や「社会学」は同大学の先生から教わる。また関西学院大学での早期単位取得ができる高大連携科目履修制度もあり、大学で何を学ぶのか、生徒たちの目的意識を高める機会となっている。「ROOT」プログラム（国際的科学技術人材育成プログラム）など学外主催のプログラムにチャレンジする生徒もいる。

## ⑤ 関西学院大学への進学について

ほとんどの生徒が推薦で関西学院大学へ進学する（2022年度：91.6%）。担任団の進路指導と進路調査、ガイダンスを通して自分の適性を考え希望学部を決定する。希望が集中した学部については、成績などを総合的に判断して推薦が決まる。推薦条件として英語力についてはCEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）のB1以上の取得が必要。2021年度より理学部、工学部、生命環境学部、建築学部が新設され、理系学部への進学希望者も増えている。

## ⑥ 寮設備

啓明寮（合宿研修所の敷地内） 定員 男子14名 女子10名

- ・全室個室。個室内にトイレ・洗面所完備。入浴施設は浴室棟に大浴場がある。
- ・長期休暇中は閉寮。疾病時は寮の舎監夫婦が通院に付き添うなど面倒を見る。



## 先生よりひと言

毎年、卒業生の90%以上の生徒が継続校推薦制度を利用して関西学院大学へ進学しています。受験勉強に縛られることのない大学継続校である強みをいかし、学習面ではあなたの興味関心の幅を広げる機会が数多くあります。また、クラブ活動やキャンプ活動を通して、仲間と共にたくさんの経験をしてください。是非一度、長期休暇などを利用して学校見学に来てください。



## 帰国生受け入れについて

### ※最新の情報は、学校ホームページおよび募集要項でご確認ください。

心も体も大きく成長するこの時期は、自ら学び自分と違うものに触れる中で多様なものを受け入れ、新しい自己を発見する時期でもある。帰国生の海外での豊富な経験から得た柔軟性やタフさを、ぜひ学校生活の中でいかしてほしい。11月にはシンガポールでの帰国生入試も実施。

### ①選考

- ・学科試験では入学後の授業についていけるかどうか、基礎学力を見るとともに今後伸びる力も判断材料となる。
- ・国内で受験をする場合、高校は専願とすることが条件。
- ・編入は中学のみ。

### ②必要な準備

- ・受験前に必ず校長または教頭によるインタビューがある。学校見学なども行い、関西学院大学に継続する一貫教育という学校の方針を理解し、本人や家族の価値観と合致しているかをよく検討すること。

### ③受け入れ後の状況

- ・クラスは一般生と混合。
- ・英語授業について、中学ではアドバンスクラスがあり、高校では選択授業や土曜講座でよりレベルの高い授業を受けることができる。
- ・生徒の理解度に応じてクラス担任、教科担任と生徒が相談の上補習を行う。





## かけはしより

神戸市営地下鉄妙法寺駅から緩やかな坂道を12分ほど歩くと、山の緑に映える美しい校舎が迎えてくれます。バスも駅から頻繁に出ています。ほとんどの生徒は歩いて通学しているそうです。

この学校の大きな特色の一つに読書教育があります。中学では教科の一つとして「読書」がありたくさんの本に親しみます。この科目では「読書＝本を読む」ということではなく、3年間を通じてあらゆる角度から本について学びます。まず中1で本の読み方や資料の集め方などを学び、中2で書評を書けるように指導を受けます。中2の終わりからリサーチレポートの作成準備に取りかかり、中3の初めにテーマを決め、2学期の終わりには10,000字のリサーチレポートを完成させ、生徒たち自身で装丁し一冊の本に仕上げます。高校になるとこの読書科の授業が学術研究に発展します。高1では欧米の読書技術と文章技術を学んだ後、提示される文献の中から好きなテーマを選び、中学の読書科で培った知識をいかして、大学生さながらの論文「学術研究レポート」を作成していきます。テーマは古典的なものから個人的に興味のあるものまでさまざま、「まずは本を読み解くというインプットから始まり、最後は論文を書き発表するというアウトプットまでの一連の勉強が中高6年かけてできるのも、大学の継続校である我が校ならではの」とおっしゃったのが印象的でした。



啓明学院の特色として、英語、読書がまず挙げられますが、近年中学の理数の時間も少し増え、高校のカリキュラムでは理数系もしっかり学べます。大学で文系の学科を選んだとしても、理数科目の基礎をしっかり学ぶということが大事だというリベラルアーツの考えがもとになっていますが、大部分の生徒が進学する関西学院大学でも理系の学科が増えてきたということも考慮してというお話でした。部活動でも中高ともに「数理科学研究会」が発足したということで、幅広い学びの意欲が感じられました。また、コロナ禍で体験活動が規制される中、生徒に少しでもいろいろな経験の機会を作ろうと先生方が提案されて、2021年度から夏休みに行われるサマープロジェクトが始まりました。2023年度は「キリスト教を訪ねる」「ミュージカルと一緒に踊ってみよう!」「しまなみ海道サイクリング」など、20のプログラムが行われたそうです。中には、先生が企画し SHIMANO が協力した「瀬戸内フィッシング」もあり、とても人気だったということでした。

キリスト教の教えを基礎として、中学から大学まで、ゆっくりと時間をかけて継続した成長を目指すことのできる学校だと感じました。

担当者から見た学校の特徴     リベラルアーツ・読書教育・体験型学習・大学継続校

